

2023年1月7日

公益社団法人日本技術士会中部本部

静岡県支部 CPD 委員会

## 2022年度 第5回講演会 参加者アンケート集計結果

**アンケート集計条件** (講演会実施日: 2022年12月10日)

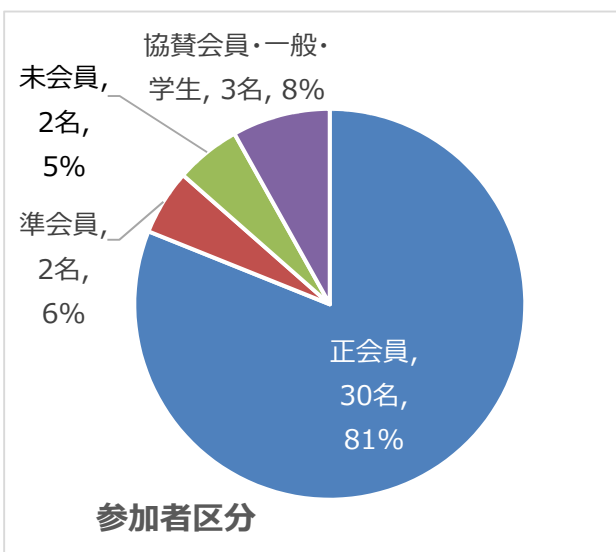
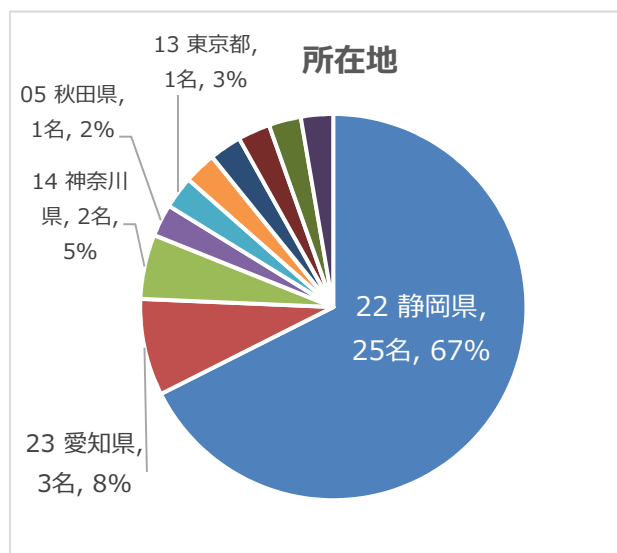
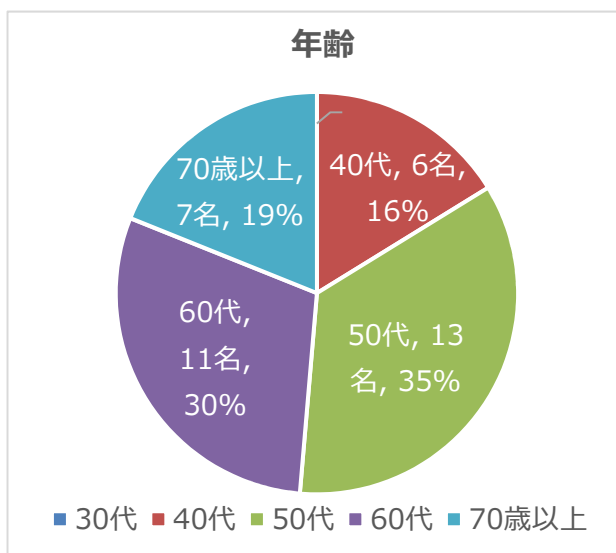
アンケート回収方法: Google フォームを活用した Web 経由による回収

アンケート回収期間: 2022年12月10日から12月24日(14日間)

アンケート回収件数: 37名(重複回答を除く)

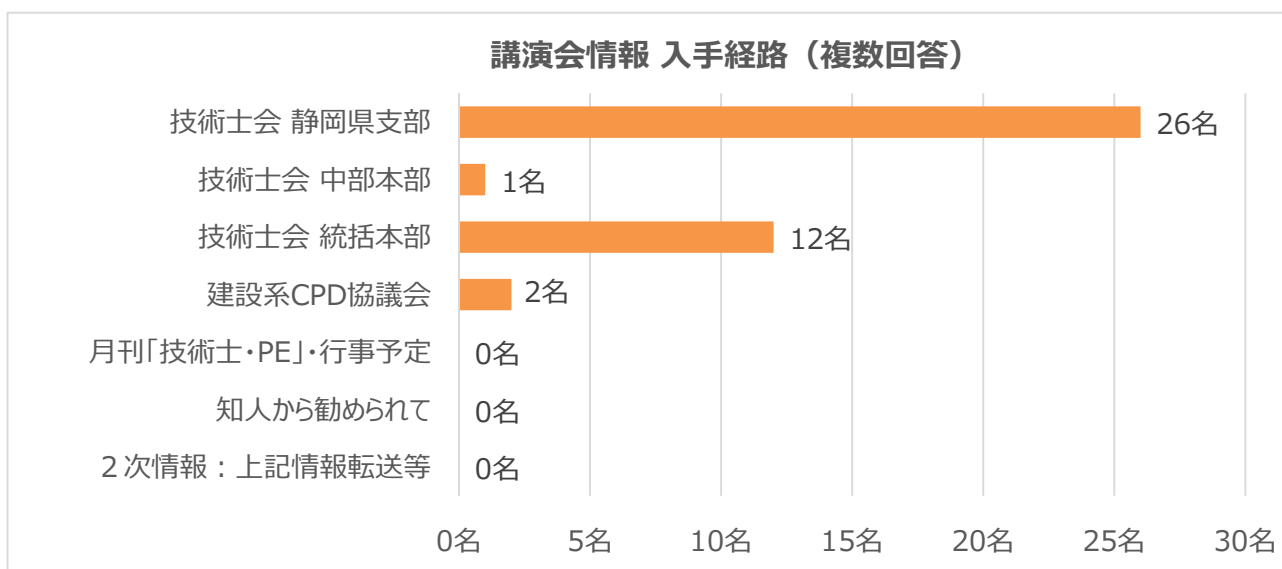
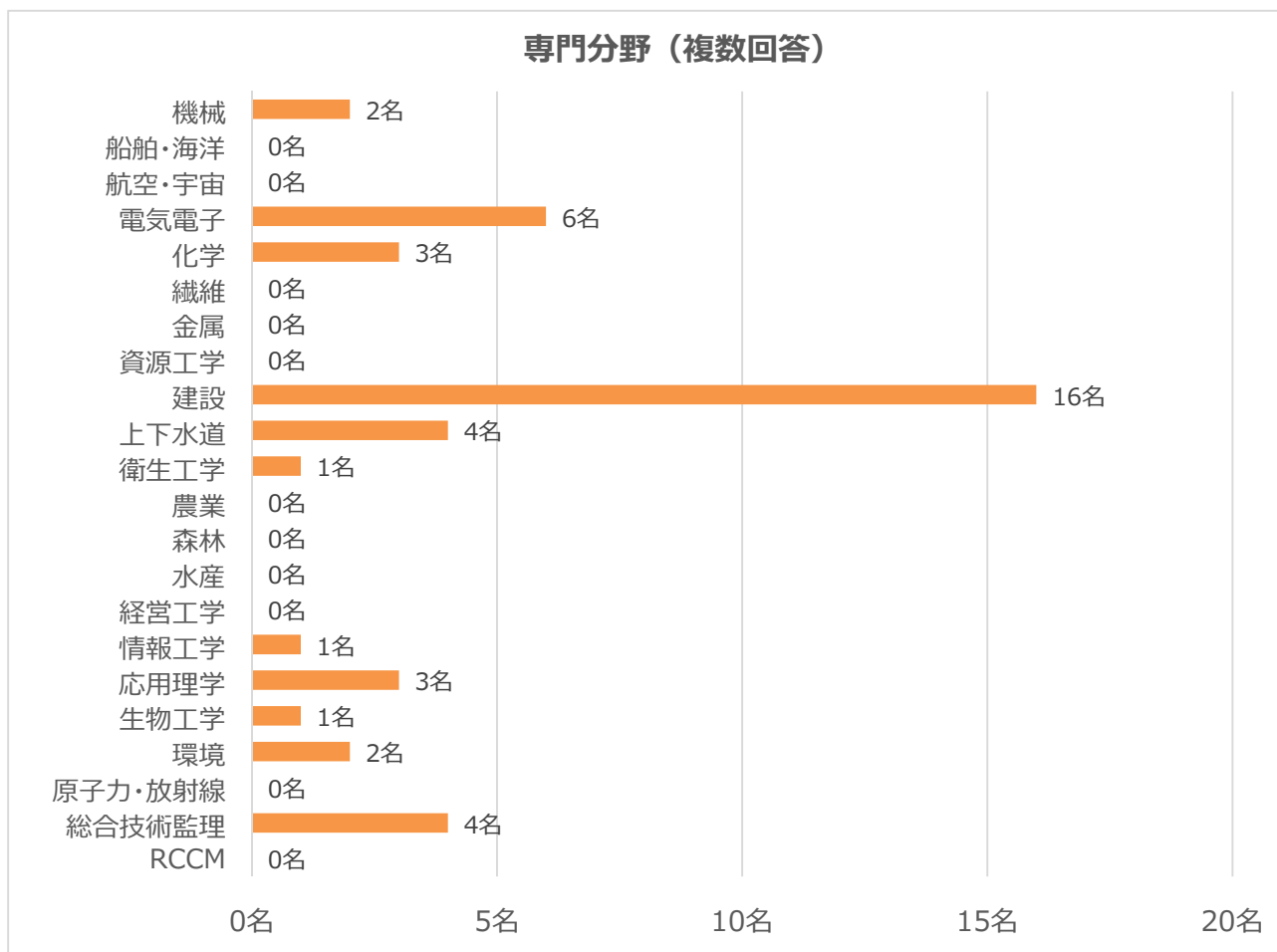
アンケート回収率: 74%(講演会参加者50名: 会場出席者21名、遠隔出席者29名)

### 講演会 参加者情報



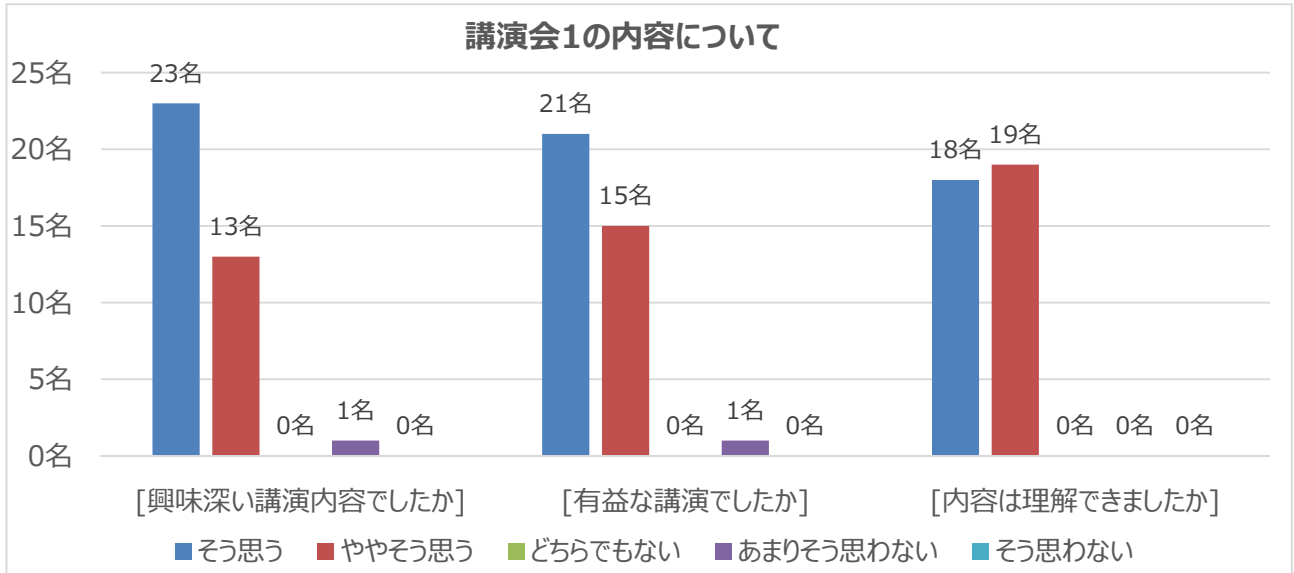
所在地	人数
22 静岡県	25名
23 愛知県	3名
14 神奈川県	2名
05 秋田県	1名
13 東京都	1名
19 山梨県	1名
24 三重県	1名
27 大阪府	1名
28 兵庫県	1名
34 広島県	1名

## 講演会 参加者情報

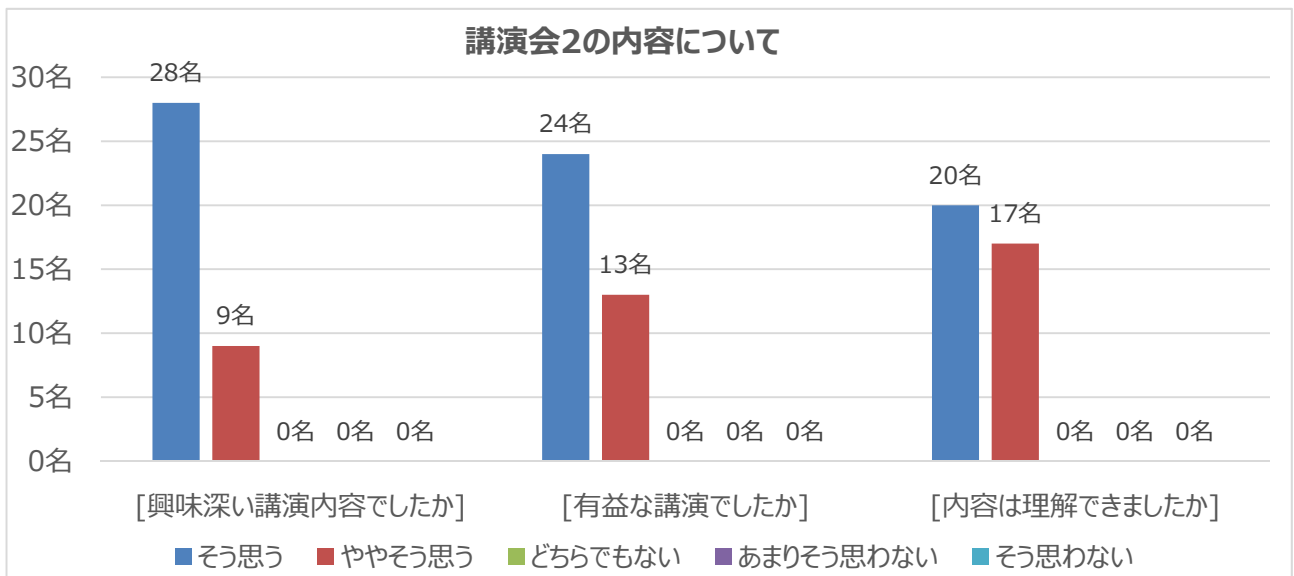


講演会の内容について（参加者のコメントは別紙①参照）

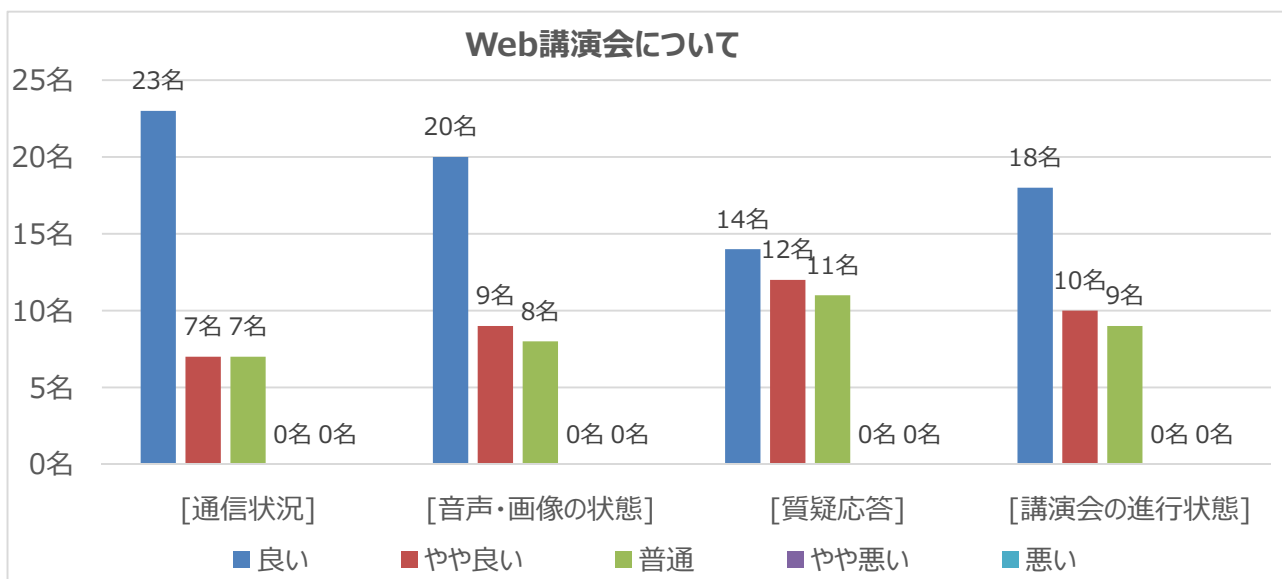
講演 1 「脱炭素経営と環境 C S R 対応」



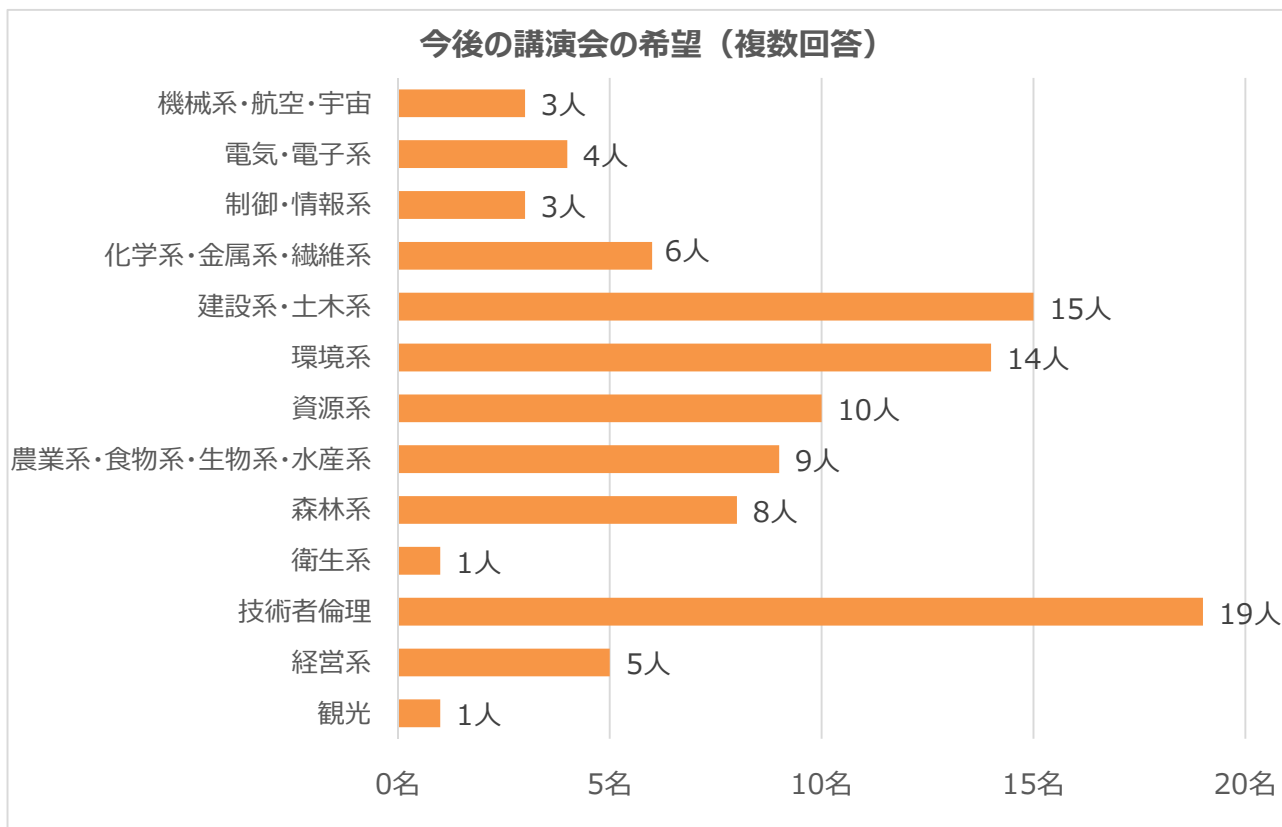
講演 2 「リニア中央新幹線の環境影響に係る県と J R 東海の対話の状況」

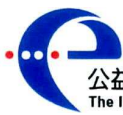


## Web 講演会について



## 今後の講演会の希望



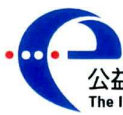


## 別紙①-1 講演 1 「脱炭素経営と環境 CSR 対応」 コメント (16 件)

- エコアクション 21 の取り組み事例や経営と環境の関係が分かりやすく確認ができた。
- 脱炭素の取組みの必要性について改めて学びました。
- 環境経営の取組について理解できた。
- 確かにその通りかと思われる内容ばかりでした。とても参考になりました。
- 色々勉強になりました。ありがとうございました。
- 資本主義と国の方針をベースとした興味深いご講演をありがとうございました。
- 環境と経済の両立について考えさせられました。
- 環境問題は数年その目標とするところが、変わってしまうものだと感じました。また、静岡県の企業がすごく環境に対して、取り組んでいることが、わかって良かったです。大変、分かりやすく説明していただき、ありがとうございました。
- 環境経営は企業の責任であり人材も必要です。しかし、地球レベルで脱炭素をというがCO<sub>2</sub>削減目標達成は非常に厳しいと感じています。
- 大変有意義であった。
- よくわかりやすく話していただいた。
- 環境問題を色々な切り口から見ることができ、有意義であった。
- ①地産地消の再生可能エネルギーが興味深かった。②EA 2.1 が環境 CSR に対応するのが参考となった。③環境経営のために人材育成の大切さを再認識。
- エネルギーと環境保全に関する問題は、わが国はもとより世界の重要なテーマと考えられます。今こそ、諸々の利害関係を排除した、多様な要素項目のトレードオフを検討した正解の施策や方針を提示していくべきと思います。それこそが、技術倫理や科学倫理と考えます。国は、国の方針の代弁者養成（環境の人材育成等）を要請するなど、国民や業界への負担増のみを考えているように感じます。
- 資料を印刷しないで参加したため、話を聞くだけになりました。資料を確認いたします。申し訳ありません。
- 最新の情報を獲得することができて、現在の状況に合った各種ツールの使い方・進め方 etc の理解が進みました。

## 別紙①-2 講演 2 「リニア中央新幹線の環境影響に係る県と J R 東海の対話の状況」 コメント (18 件)

- 静岡県の取り組みを具体的に説明いただき、大井川流域の水資源の重要性を再確認できた。
- 大変な問題だと思います。静岡県民も納得がいくような解決を望みます。
- 難しい問題が残るが、頑張って妥協点を見つけてほしい。
- このような内容だとは新聞などからでは読み取れなかった。
- 個人的にはリニアは不要と考えておりますが、ご講演内容は良く分かりました。参考にさせていただきます。
- 今まで問題点等が分からなかったので色々説明が聞けて良かったです。
- 全く立場の異なる対話の、状況や背景が理解できました。貴重なご講演を、ありがとうございました。
- J R と静岡県、地元関係者との対話が相互理解できるまで進めてほしい。
- ニュースだけではわからなかったことを詳細に説明いただき、これからはこのニュースをもう少し深く理解できるのではないかと思います。
- リニア工事で大井川上流域の水が減った時に、中下流域にどれ程の影響があるのか…今後も予測できないと感じました。水が減った時の対応策として、中下流域には水瓶（貯水池）を作るなどの対策が考えられますが、こういう対策については、実際に工事により水が減るとも限らないので、県も JR もお互いに提案も出来ないまま、今後も時間が過ぎて行くのは避けてもらいたいと思っています。
- 国土交通省が事業認可したあとの J R と静岡県のやり取りのまずさで現在に至る。環境を重視するあまり逆効果を心配する。リーダーの采配が重要で今のままでは解決が見えない。
- 静岡県の南アルプス自然保護に対する想いが伝わり、大変良かった
- 新聞等では断片的な情報しか得られないため、今回、全体の流れがわかり理解が深まり良かった。
- 自然を保全する意味で、JR の真摯な対応を期待する。
- JR 東海をはじめ、国交省や近隣県等々との交渉や説明、大変だと思います。頑張ってください。県外で業務をする時、他府県の方々は思いのほかリニアに肯定的で、静岡県知事や静岡県民が反対していることへの嫌悪をお持ちです。JR 東海や国交省との交渉のみにとらわれ続け、全国的な広報に注力しないままであると、静岡県知事の反対や静岡嫌悪のレッテルを貼られ続けられてしまいます。ご一考ください。
- 引き続き県民目線で対応をお願い致します。
- 12 月 12 日の静岡新聞の夕刊に高速先進ボーリングの話が出ていました。事前に話を聞いていたので、内容は多少理解できました。
- 旬な話題のテーマで、難課題の具体的中身の詳細を知ることが出来て、試行錯誤を重ねての対話の状況について理解が進みました。



## 別紙② その他・全体コメント（12件）

- web 併用でお願いしたい。
- 可能であれば、Web での開催を続けていただきたいと思います。
- Web ですと、会場まで行く手間が省けるので、大変ありがたい。また、参加しやすい。
- 講演会を開催頂きありがとうございました。
- WEB とのハイブリット方式は今後もお願いします。
- 開催時期は、8月から12月くらいが適期と思います。
- ハイブリッドの講演を希望します。
- あざれあ参加なので、アンケートの「Web 講演について」が必須なのは困りました。
- 今回のように…会場で視聴できる講演会を増やしてもらいたいと思います。
- 静岡県の農業、新林業に関して今後を見通した施策や新しい動きについて取り上げていただきたい。
- 技術者倫理の講習会の場があるとありがたい。
- 事務局の方々、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

たくさんの貴重なご意見ご要望を寄せていただきました。

本項で頂いた貴重なご意見、ご要望は今後の例会運営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上